

さいがい 災害が起きたら

みなさんが住んでいる地域では、地震などの災害が起きたときの建物の崩壊や火災、異常気象による洪水等で危険がせまってくる場合に備えて、安全を確保する避難所が決められています。

1 避難所は、どこ？

仙台市では、次のように避難所を整備しています。

(下線の避難所は、東日本大震災後に新たに加わったものです。)

① 指定避難所	避難のための広場と建物を備えた施設で、市立の小中学校、高等学校が指定されています。
② 補助避難所	指定避難所を補う施設です。市民センターやコミュニティ・センターなどが使用されます。
③ 地区避難施設 (がんばる避難施設)	地域の集会所などを利用して、地域の人々が自主的に運営する施設です。
④ いっとき避難場所	地域での避難や、住宅がたおれそうなときに避難する近くの公園や広場です。
⑤ 地域避難場所	一時的な避難場所として、比較的大きな公園などが指定されています。
⑥ 広域避難場所	火災が広がって、指定避難所などにとどまることができないような場合の避難場所です。主に面積の大きな公園などが指定されています。
⑦ 福祉避難所	高齢者や障害者の方で、介護など特別な支援が必要であるなどの理由で、指定避難所の生活がむずかしい場合に開設する二次的避難所です。

※仙台市避難所運営マニュアル (事前準備解説編) (平成25年4月より)

2 その場に応じた身の守り方

いつ、どこで地震などの災害が起こるかは、分かりません。大切なことは、災害が起きたときにどのような行動を取るかを日頃から考えて、備えておくことです。



屋外で地震がきた！  
頭を保護し、倒れたり落ちてきたり動いてきたりするものから離れる。



エレベーターの中で地震がきた！  
各階のボタンをすべて押し、最初の停止階で降りる。

? 考えよう

○このほかにもいろいろな場所を想定して、どのような行動を取ればよいか考えてみましょう。

被害を少なくするために (減災)

人間は、大規模な自然災害の被害を完全にくい止めることはできませんが、知識や経験で災害の被害を少なくすることができます。ここでは知識のいくつかを紹介します。

【津波からの避難の手引き(暫定版)】

仙台市が津波から避難するための対応方法をまとめたものです。

自然災害は予測をこえることも考えて、より安全につながる活用が求められます。



津波からの避難の手引き (暫定版) 第2版 平成25年4月

【緊急地震速報】

地震のゆれが到達する前に、地震の発生を音声や画像で伝えます。

テレビやラジオ、携帯電話などから知らされます。緊急地震速報が出た後、その場の状況に応じて確実に身を守る方法を考えておくことが大切です。



仙台放送提供 (テスト用画面)